

キック機構用ギヤボックス

キック機構用ギヤボックスは、キック機構を動かすためのギヤボックスです。走行用ギヤボックスよりも二段ギヤの枚数が多いので注意しましょう。

1

警告
 一個だけ残ったケーブルが
 一番短いモーターを使います。
 それ以外のモーターを使用すると故障の原因になる可能性があります。

ケーブルの向きが絵と同じになるように取付けてください。

D6
 (この時、D4もランナーから切り取っておきます。)

モーター

ネジ

警告

ピニオン押し込み工具を使ってピニオンギヤをモーターのシャフトに奥まで押し込んでください。押し込んだピニオンギヤの隙間から、モーターのシャフトの先端が見えるまで押し込みます。(右下の写真)固くて入らない場合は、大人の人にお願ひしましょう。

ピニオンギヤ

ピニオン押し込み工具

2

ファイナルギヤ × 1

⑥

⑤

④

③

②

①

二段ギヤ × 5

グリス

各ギヤの外周の歯にグリスを付けてください。一部についていれば、ギヤが回転したときに全体に広がります。

警告
 上の写真のようにピニオンギヤと二段ギヤが同じ高さでかみ合っているか確認してください。もし高さが違うようならピニオンギヤを奥まで押し込んでください。全てのギヤを取付けたら、下の絵のようにギヤ同士がかみ合っていることを確認してください。ギヤの枚数が多いため、ファイナルギヤは手では回しません。

二段ギヤを①②③④⑤の順でかさね、⑥番目にファイナルギヤをのせます。

ナット × 9

3

ネジ

D4

ネジ

ナット

キック機構用ギヤボックス完成!!